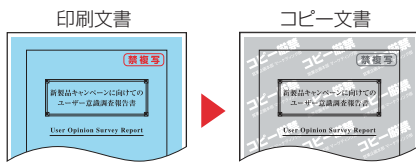


印刷物がコピーされないようにする

【コピーガード印刷】



※イメージサンプルです。実際の印刷とは異なります。

60_257

文書の不正使用や流出を防止するため、文書に複写防止のコピーガードパターンを付けて印刷できます。コピーガードパターンが印刷された文書をコピーすると、コピーガードパターンの種類により、次の効果があります。

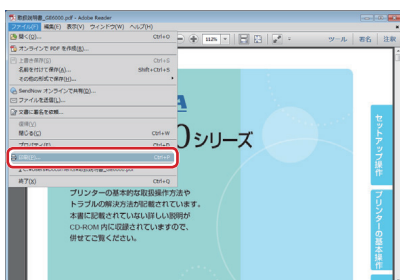
- 複写すると文字が浮かび上がる（P：ポジ）
- 複写すると文字の部分が消える（N：ネガ）
- 原本だけに文字が表示される

プリンターの機種により表示される画面が異なりますが、基本的な操作は同じです。



ポイント

- コピーガード印刷を利用する場合は、付属の CD-ROM を使用してプリンタードライバーをインストールしてください。
- OS の「プリンターの追加」を使用してプリンタードライバーをインストールした場合は、プリンタードライバーセット内の「CGSystem」フォルダー内のセットアッププログラムを実行する必要があります。
- コピーガードパターンは、拡大／縮小やマルチページ設定に関係なく用紙の全面に印刷されます。
- 印刷できるコピーガードパターンは、あらかじめ設定されているパターンだけです。「コピーガードツール」（有償）をご利用いただくことでコピーガードパターンの追加・変更ができます。
- 次の機能を設定している場合、コピーガード印刷を設定すると、メッセージが表示されて下記のように変更され、設定不可（グレー表示）になります。
- 解像度が「600dpi」以外に設定されている場合は、自動的に解像度が「600dpi」に設定されます。
- マルチページの設定で「分割」または「BOOK 合成」が選択されている場合、マルチページの設定が取り消されます。
- フォームオーバーレイ印刷の「フォーム処理」で「フォームファイル出力」が選択されている場合、フォームオーバーレイの設定が取り消されます。
- フォームオーバーレイ印刷の「発生オプション」で、「先展開」が選択されている場合、フォームオーバーレイの設定が取り消されます。
- セパレータの挿入の「1 ページごとにセパレータを挿入する」の設定で「セパレータにコピーを印刷する」が選択されている場合、セパレータの設定が取り消されます。
- プリンターに登録されている印刷権限により、コピーガードが強制的に設定される場合があります。



60_0050

1. 次の手順で、プリンタードライバーのプロパティ画面を表示します。

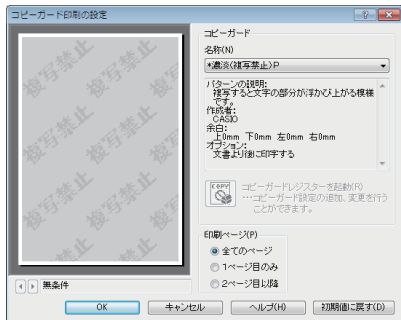
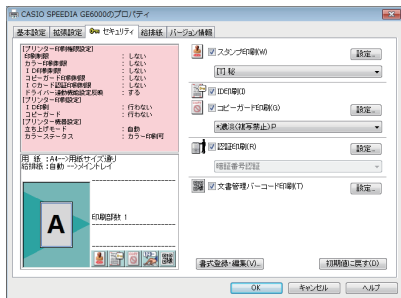
- (1) 「ファイル」メニューの「印刷」を選択します。
- (2) 「プロパティ」ボタンをクリックします。

2. 「コピーガード印刷」を設定します。

(1) 「セキュリティ」タブをクリックし、「コピーガード印刷」にチェックマークを付けて、コピーガードパターンを選択します。

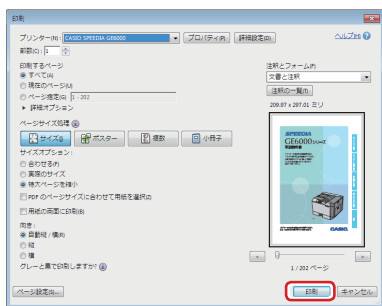
(2) 「適用」ボタン、「OK」ボタンをクリックします。

- 「設定」ボタンをクリックすると、「コピーガード印刷の設定」画面が表示され、コピーガードパターンを付けるページを選択できます。



3. 「印刷」ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。



60_0054

印刷パターン

